

システム情報工学研究群社会工学学位プログラム
社会人特別選抜対象
地域未来創生教育コース

カリキュラム・入学試験・ 履修方法・経済支援



2021年4月

筑波大学システム情報系

繁野麻衣子

社会連携講座「地域未来創生教育」

日本の原風景×Society5.0で
持続性ある地域の未来を創生できるグローバル人材の育成

子育て環境の充実



見守りロボット・自動運転送迎

防災・減災の拠点形成



燃料電池・ビッグデータ予測



農業の生産性向上



農業用小型ロボット・画像認識

知能化

スローライフ

スマートハウス

無電柱化

小型モビリティ

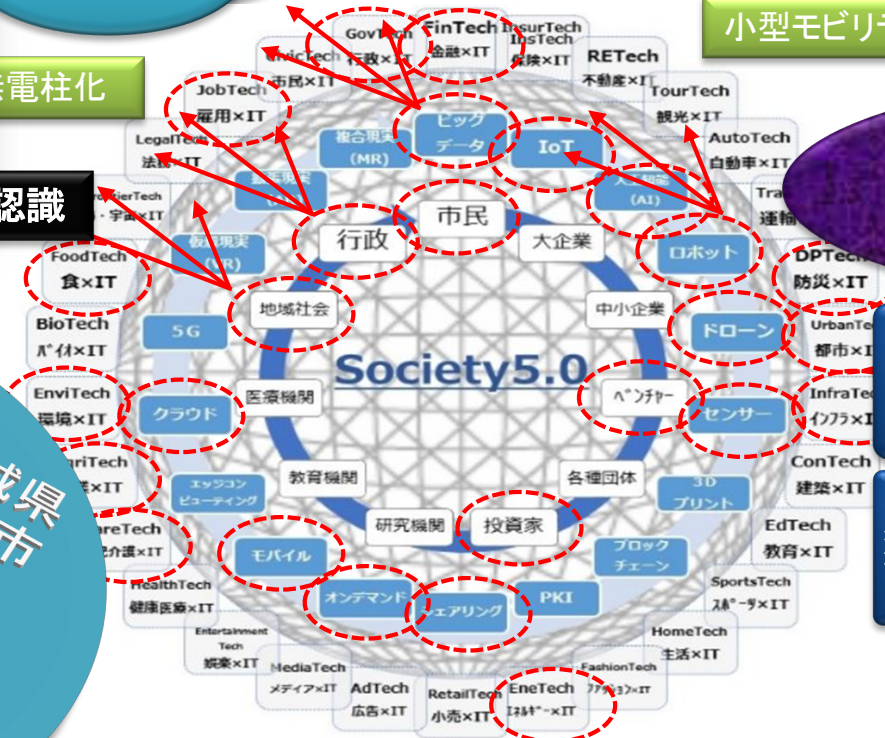
社会工学学位プログラム
「地域未来創生教育
コース」で開設

地域未来創生教育講座

支援
企業・
組織

茨城県
石岡市
常総市

筑波大学



地域未来
創生概論

モビリ
ティ・イノ
ベーションの社会
応用

ブロック
チェーン
技術と
地域未
来創生

アクティブラーニング
プログラム

八郷
未来
project

常総
復興
project

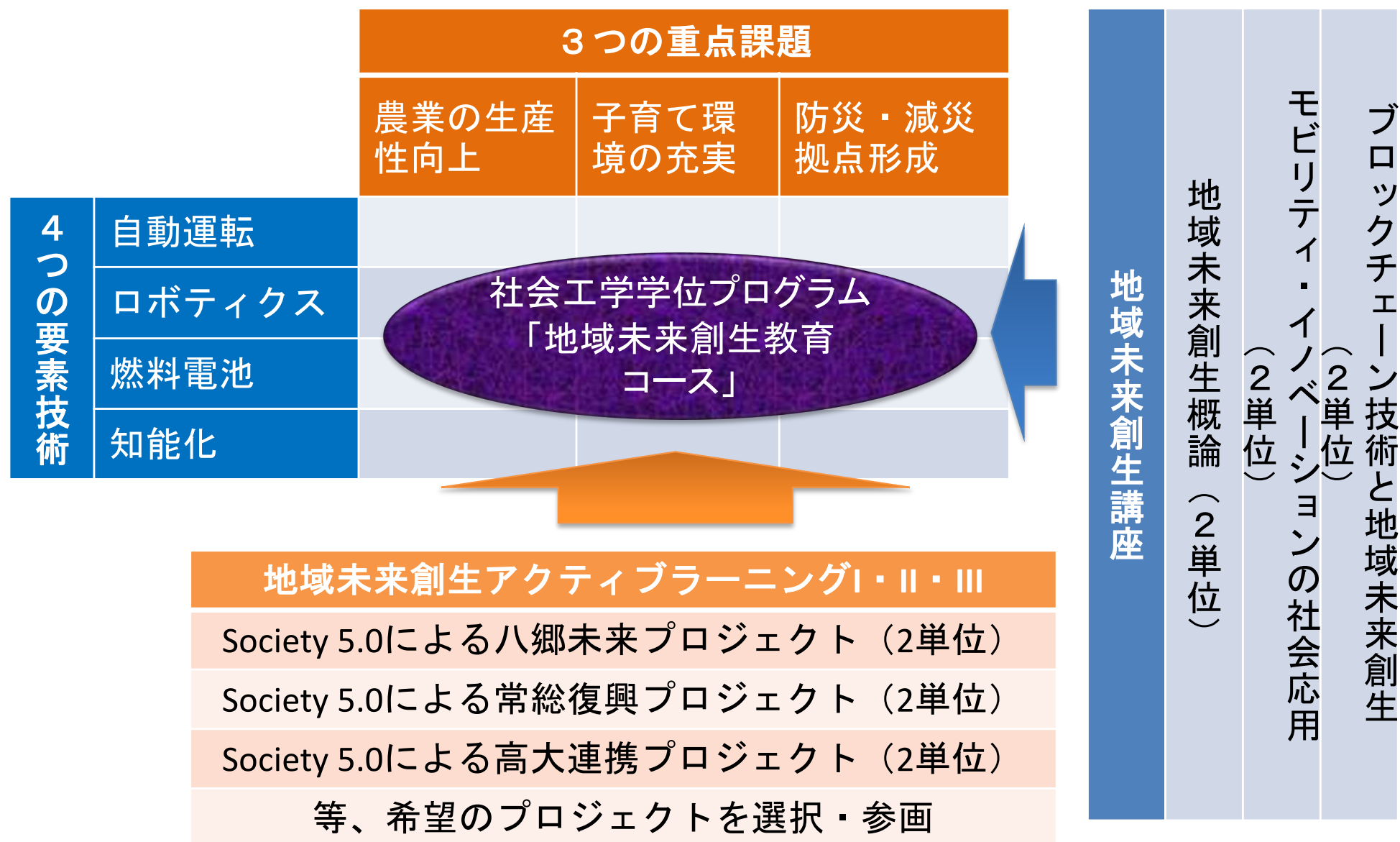
高犬
連携
project



- ◆ 「地域未来創生＝
地域におけるイノベーション創出のための人・知・資金
の好循環システムの構築」
 - ◆ 少子高齢化、自然災害、エネルギー制約等の地域の困難な
課題を解決する手段として
 - ◆ 自動運転・ロボティクス・燃料電池・知能化技術の急速な
進展を活用しながら
 - ◆ 「地域未来創生」を通して世界を先導できる人材を育成す
る、新時代の教育プログラム
- ➡ 「超スマート社会」（Society 5.0）の実現に貢献

社会人向けの修士（社会工学）の学問領域





社会工学学位プログラム 社会人特別選抜 募集要項 参照

社会人特別選抜基準
での評価

社会工学学位プログラムの社会人特別選抜受験者（8月期 / 2月期）

試験内容：口述試験

① 口述試験：個別面接

口頭発表（5分）：志望動機、学習・研究計画、準備状況、修了後の予定について説明する。
総合的質疑応答（15分）：発表内容を含め、図表やデータの読み取りによる分析能力や論理的思考能力の確認と総合的な質疑を行う。

面接（日本語・英語両方可）による評価

科目区分		必修科目	単位	選択科目	単位
大学院共通科目 学術院共通専門基礎科目	専門基礎科目			● 左記区分科目から選択	
研究群共通科目群	専門基礎科目	● モビリティ・イノベーションの社会応用 (週1回×10週) ● ブロックチェーン技術と地域未来創生 (土日集中)	4	● 社工関連科目以外	2単位以上
				● 社工関連科目	6単位以上
	専門科目			● 社工関連科目	0～
学位プログラム科目群	専門基礎科目	● 地域未来創生概論 ● 地域未来創生アクティブラーニングⅠ ● 地域未来創生アクティブラーニングⅡ ● 地域未来創生アクティブラーニングⅢ (集中)	8	● 社工関連科目	0～
	専門科目	● 社会工学修士基礎演習Ⅰ ● 社会工学修士基礎演習Ⅱ ● 社会工学修士特別演習Ⅰ ● 社会工学修士特別演習Ⅱ ● 社会工学修士特別研究Ⅰ ● 社会工学修士特別研究Ⅱ	12	● 社工関連科目	0～
総修得単位数		必修科目	24単位	選択科目	上記合計 12以上

授業に出席できない場合は教員にご連絡ください。録画して後日視聴できます。

◆ 経済支援

コース履修者は**厚労省専門実践教育訓練給付金**に申請できます。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11804000/000534908.pdf>

<https://www.mhlw.go.jp/content/000571214.pdf>

- (1) 対象者：「地域未来創生教育コース」を履修し、
雇用保険の被保険者など一定の条件を満たす者
- (2) 種 別：専門実践教育給付金
- (3) 支給額：本人が支払った受講費用の50%（上限年間40万円）
- (4) 支給時期：6か月ごと
- (5) 支給期間：受講期間

◆ 地域未来創生教育コースについては

maiko@sk.tsukuba.ac.jp

に「地域未来創生教育コース」とご連絡ください.